【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成25年1月17日(2013.1.17)

【公開番号】特開2011-112872(P2011-112872A)
【公開日】平成23年6月9日(2011.6.9)
【年通号数】公開・登録公報2011-023
【出願番号】特願2009-269190(P2009-269190)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｂ　17/02　　(2006.01)
Ｇ０９Ｆ　 9/00　　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　 5/225　 (2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｂ　17/02
Ｇ０９Ｆ　 9/00　　３５１
Ｇ０９Ｆ　 9/00　　３５０Ｚ
Ｈ０４Ｎ　 5/225　　Ｆ

【手続補正書】
【提出日】平成24年11月22日(2012.11.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明の電子機器は、表示器と、表示器を保持するシャーシ部材と、前記シャーシ部材に固定される三脚座と、前記シャーシ部材に保持された表示器を覆う外装部材と、を具備する電子機器において、前記三脚座には突起部が形成され、前記シャーシ部材には、表示器の底面を支持する支持領域と、前記支持領域に対して折り曲げられることで前記表示器の側面を保持する壁部となる第１の領域と、前記シャーシ部材に前記三脚座を固定したときに前記突起部が挿通される孔部とが形成されるものであって、前記突起部は、前記シャーシ部材に保持される前記表示器の表示面の高さよりも、前記外装部材に向けて突出することを特徴とする。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
表示器と、表示器を保持するシャーシ部材と、前記シャーシ部材に固定される三脚座と、前記シャーシ部材に保持された表示器を覆う外装部材と、を具備する電子機器において、
前記三脚座には突起部が形成され、
前記シャーシ部材には、表示器の底面を支持する支持領域と、前記支持領域に対して折り曲げられることで前記表示器の側面を保持する壁部となる第１の領域と、前記シャーシ部材に前記三脚座を固定したときに前記突起部が挿通される孔部とが形成されるものであって、
前記突起部は、前記シャーシ部材に保持される前記表示器の表示面の高さよりも、前記

外装部材に向けて突出することを特徴とする電子機器。
【請求項２】
前記突起部は前記シャーシ部材に固定されることで、前記突起部の側面が前記表示器の側面を保持することを特徴とする請求項１に記載の電子機器。
【請求項３】
前記シャーシ部材には、前記第１の領域とは反対方向に折り曲げられ、前記三脚座を保持する三脚座保持部を形成されることを特徴とする請求項１または２に記載の電子機器。
【請求項４】
前記外装部材は前記三脚座に固定されるものであって、前記外装部材と前記三脚座との間に前記三脚座保持部を挟んで固定されることを特徴とする請求項３に記載の電子機器。